

別紙

宝積飲料株式会社 志和工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

宝積飲料株式会社 志和工場

(2) 事業所の所在地

東広島市志和町別府2061-3

(3) 業種

清涼飲料の製造(1011)

2 計画の期間

平成19(2007)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成27(2015)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス実排出量総計							
温室効果ガスみなし排出量							
実績に対する自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》
 原単位算定に用いた指標：製造量 (千t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成19年度	平成27年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー起源CO ₂	0.167	0.147 12	0.149 10.8				
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス総排出量	0.167	0.147 12	0.149 10.8				
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	75.78		68.01 10.3				
実績に対する自己評価	貫流ボイラの台数制御・運転管理の貢献が高い						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値実績	具体的な取組み
1	LNG使用量の削減	・LNG使用量の基準年原単位対比7%削減	・ラインのトラブル、チョコ停を減らし、稼働率の向上 ・省エネ型機器への更新及び導入 ・エネルギー管理の見直し
2	電気使用量の削減	・電気の使用量を基準年原単位対比16%削減	・ラインのトラブル、チョコ停を減らし、稼働率の向上 ・省エネ型機器への更新及び導入 ・エネルギー管理の見直し
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値実績	具体的な取組み
1	資材ロスの削減	・資材ロスを前年対比1%削減	・ラインのトラブル、チョコ停を減らし、稼働率の向上
2	食品廃棄物のリサイクル	・リサイクル率100%	・廃棄物の削減 ・分別による資源化
3	その他		

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。